第１５回尾道市ＰＴＡ連合会
親睦ソフトバレーボール大会
審判講習会資料

日　時　　平成２８年７月７日（木）１９：３０～
場　所　　びんご運動公園　健康スポーツセンター２Ｆ
　　サブアリーナ

次　　第

１　開会
２　大会会長あいさつ
３　大会実行委員長あいさつ
４　説明事項
　（１）試合の進行について
　（２）競技規則について
　（３）その他
５　閉会

尾 道 市 Ｐ Ｔ Ａ 連 合 会
日比崎中学校ブロックＰＴＡ

第１５回尾道市ＰＴＡ連合会親睦ソフトバレーボール大会競技規則

Ⅰ　施設と用具

１　競技場

（１）コート

コートは，９ｍ×１２ｍとする。アタックラインはセンターから２ｍとする。ラインの幅は５ｃｍとする。

（２）ネットおよび支柱

ネットおよび支柱，アンテナは，バレーボール用のものを使用する。ネットの高さは２０５ｃｍとする。アンテナは，白帯の外側に接して設置する。

２　ボール

試合球はゴム製で，重さ２１０±１０ｇ，円周７８±１ｃｍの（財）日本バレーボール協会制定のソフトバレーボールを使用する。

Ⅱ　チーム

１　参加資格

（１）選手は，児童・生徒の在籍する小・中学校ＰＴＡの会員とする。

（２）選手，主将の登録は，大会当日に行う。主将はチームの代表者を兼ねる。

２　参加チーム

（１）小・中学校ＰＴＡ単位で編成したチームで，参加費（１校につき５，０００円）を納入していること。（代表者会議の時に納入）

（２）各小・中学校で１チームとする。（詳細はⅡ－３チーム編成に記載）

（３）原田学園ＰＴＡは，小学校の１チームとして登録する。

３　チーム編成

（１）中学校

各試合においてベンチ入りできる登録人数は，選手，主将を含めて原則男女とも９名以上とし，内教職員は男女とも４名以内とする。

主将は，選手と兼任とする。

（２）小学校

各試合においてベンチ入りできる登録人数は，選手，主将を含めて原則下記にしたがう。いずれの場合も，教職員は男女とも４名以内とする。

主将は，選手と兼任とする。

・保護者のＰＴＡ会員数が５０人未満の学校
　→男女とも選手数は８名以上とする。

・保護者のＰＴＡ会員数が５０人以上，１５０人未満の学校
　→男女とも選手数は９名以上とする。

・保護者のＰＴＡ会員数が１５０人以上の学校
　→男女とも選手数は１１名以上とする。

（３）諸事情にて規定人数に達しない場合には，大会当日に受付登録する際に申し出て頂き，大会実行委員長に認可を受ける事とする。

４　競技参加者の権利と義務

（１）基本的な権利と義務

① 競技参加者は，競技規則を理解，遵守し，試合中，常にフェア・プレーの原則とその精神に基づいた行動をとらなければならない。

② 親睦を旨とし，ＰＴＡ活動にふさわしい行動をしなければならない。

③ 試合中のトラブルは，主審，主将により解決しなければならない。

④ 会場及び会場周辺では実行委員会の指示に従わなければならない。

（２）キャプテンの権利と義務

① チームキャプテンは，試合前，チームを代表してトス及びサインを行う。

② チームキャプテンは，競技規則適用の解釈についての質問をすることができる。

（３）競技者の服装

① 選手の服装は運動のできるものとし，胸部と背部に番号をつける。

② チームキャプテンは胸部の番号の下に，長さ８ｃｍ，幅２ｃｍのマークをつける。

Ⅲ 試合の準備と進行

１ キャプテンのトス

所定の時刻に両チーム集合の後，主審立ち会いのもと，両チームのキャプテンがじゃんけんにより，トスを行う。トスに勝ったチームキャプテンは，サービス権を選ぶことができる。

２ チームのウォーム・アップと試合間隔及びインターバル

試合間隔及びインターバルは５分間とする。この間に，チームの入れ替え，準備，ウォーム・アップを行う。次の試合のチームは，前試合が終了した後，直ちに入場し，礼の後ウォーム・アップを始める。

３ チームのラインナップシート

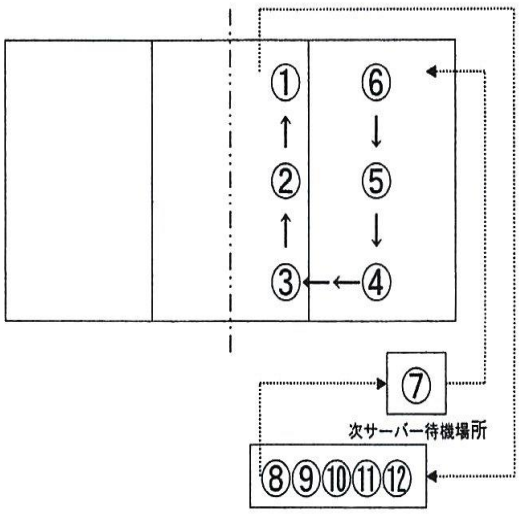
試合の開始前，所定の時刻までにチーム代表者はラインナップシートにチームのスターティング・ライン・ナップを記入して，係員に提出しなければならない。

４ 競技者の位置とローテーション

（１）位 置

１）ネットにそって位置する３人は，フロントの競技者で①②③の位置を占める。他の３人はバックの競技者で④⑤⑥の位置を占める。

①ＦＲ（フロントライト）
②ＦＣ（フロントセンター）
③ＦＬ（フロントレフト）
④ＢＬ（バックレフト）
⑤ＢＣ（バックセンター）
⑥ＢＲ（バックライト）



２）サーバーがサーブを打った瞬間に両チームの競技者は，コートポジションで定められた位置関係を守らなければならない。

（２）ローテーション

試合中は，ラリーに勝つごとに時計回りにローテーションを行う。ＦＲ（フロントライト）から移動する選手がベンチに入り，ベンチ入りした選手全員がラインナップシートに記載された順番にＢＲ（バックライト）に入る。

５ 競技中断の要求

（１）タイム・アウト

作戦タイムは採用しない。

（２）競技者の交代

ケガ等により退場者が出た場合には，順番を繰り上げる。一度退場した選手は，その試合に再出場することができない。

６ コートの交替

セット間で，コートの交替は行わない。

Ⅳ　得点，セットおよび試合の勝者

１　試合及び試合の勝者

（１）試合

１試合とは，第１セット女子１５分，インターバル５分，第２セット１５分間の時間制による２セットマッチを指す。

（２）試合の勝者

試合の勝者は，１試合の合計得点の多いチームを勝者とする。同点の場合は，引き分けとする。

２　得点の方法

（１）相手チームがサービスや返球に失敗したり，他の反則を犯したりしたときは，ラリーに勝って１点を得る。（ラリーポイント制）また，もし相手がサービス・チームであれば，サービス権も得る。

（２）終了の場内アナウンスにしたがい，ボール・デッドになっていなくてもプレーは終了される。その際の得点は加えない。

３　得点の加減

（１）ラインナップシートに書かれた選手が，試合集合時刻から１０分を超えて遅刻した場合，棄権とみなす。尚，一度提出されたラインナップシートの変更は認めない。

（２）審判担当チームが試合集合時刻から１０分を超えて遅刻した場合は，当該チームが行った試合の勝ち点から１点減ずる。

（３）組み合わせ抽選後に大会参加若しくは試合を棄権したチームが生じた場合は，５０対３０で対戦相手チームの勝ちとする。

（４）棄権したチームの順位は，そのグループの最下位とする。

（５）あからさまな遅延行為（執拗な抗議を含む)は，相手チームにサービス権と１点を与える。（主審の判断による。）

４　組み合わせ及び試合時間の変更

試合の棄権があっても，組み合わせの変更，試合時間の変更，延長は行わない。また，選手のケガ，用具などが破損し，その処理のために時間を要したとしても試合時間の変更，延長は行わない。

Ⅴ　プレー上の動作と反則

１　サービス

サービスとは，サービス・ゾーン内から競技者が，片方の手または腕でボールを打ち，イン・プレー状態にする行為である。

（１）セットの最初のサービス

１）第１セットの最初のサービスは，トスの結果，サービス権を得たチームが行う。

２）第２セットの最初のサービスは，第１セットから引きつがれる。（第１セットが終了した時点でサービス権をもっていたチームからサービスを行う。）

（２）サービス順

サービスは，ラインナップシートに記入された順に従って行われる。

もし，サービス順通りに行わなかったときは，サービス順の誤りの反則となり，相手チームにサービス権と１点を与え，間違ったチームは正しいサービス順（選手の位置を含む）に戻す。

各セットの最初のサービスの後，

１）ラリーに勝ったチームがサービス・チームであれば，ローテートし，次の競技者がサービスを行う。

２）サービスをレシーブしたチームがラリーに勝った場合は，サービス権を得てローテートし，次の競技者がサービスを行う。

（３）サービスの実行

① サービスは１回とする。ただし，身体のどの部分にも触れず床にボールが落ちた場合は，トスミスと見なす。トスミスは１回のみとする。

② サーバーは，主審のサービス吹笛後すみやかにボールを打たなければならない。主審の吹笛以前に行われたサービスは，無効となり打ち直される。

③ サーバーは，ボールを打った瞬間，あるいはジャンプ・サービスをするために踏み切ったとき，コート（エンド・ラインを含む。）やサービス・ゾーン外側の床面に触れてはならない。（フット・フォールトの反則）

④ サーバーのフット・フォールトやサービス側のアウト・オブ・ポジションとレシーブ側のアウト・オブ・ポジションが同時に起こったときは，サービス側の反則とする。

＜注釈＞
・サービスのトスミスは，一度しかできないが，ボールを手の中で動かしたり，タイミングをとるために床にドリブルすることは許される。
・２回目のトスミスは，サービスの失敗と見なし，相手チームにサービス権と１点を与える。

２　ボールへの接触

（１）チームは，ネットを越えてボールを返すために，最大限３回プレーすることができる。ブロックにボールが触れたときは，１回のプレーと数えない。

（２）競技者は連続して２回ボールを打つことはできない。ただし，ブロックをした場合には，もう一度続けてボールに触れることができる。

（３）同一チームの２人の競技者が同時にボールに触れたときは，１回触れたものとし，その後，いずれの競技者も引き続いてボールに触れることができる。

（４）ボールは，身体のどの部分に当ってもよい。

（５）ボールは打たれなければならない。つかんだり，投げてはならない。

（６）両チームの競技者が同時にボールに接触をした後，そのボールがアンテナやコート外の物体に触れたときは，ダブル・ファウルである。また，そのボールがコート外に落下した場合は，落ちた側の勝ちである。

＜注釈＞
・チームの第１回目打球のとき，ボールが身体の２箇所以上に連続して当たってもよい。ただし，その接触は，一つの動作中のものに限られる。
・ホールディングやドリブルなどのボール・ハンドリングの基準は，１試合の中で均一に保たれることが望ましい。

３　アタック・ヒット

サービスとブロックを除き，ボールを，ネット上端より完全に高い位置から相手に向かって送ろうとするすべての動作は，アタック・ヒットとみなされる。アタック・ヒットは，ボールがネット上方の垂直面を完全に通過した瞬間，あるいは相手方競技者に触れたとき，完了する。

（１）フロントの競技者は，味方のプレー空間内であれば，どんな高さからでもアタック・ヒットを行うことができる。

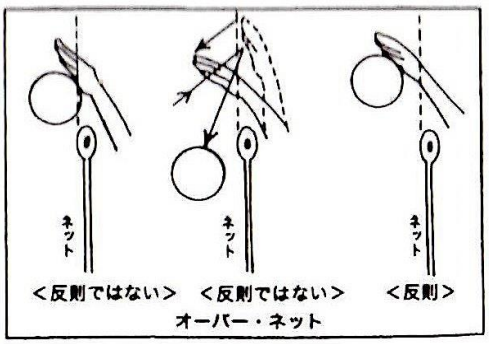
（２）バックの競技者は，アタックラインより後方であれば，どんな高さからでもアタック・ヒットを行うことができる。

（３）相手方のサービスしたボールを，アタック・ヒットすることは許されない。

4　ブロック

ブロックとは，競技者がネットに接近して相手方から送られてくるボールを，ネットの上端より上方で阻止する行為をいう。

ブロックは，ボールがブロッカーに触れたとき完了する。



（１）フロントの競技者は，相手のプレーの後，ブロックすることができる。ただし，オーバー・ネットは許されない。その基準はボールと手の接触点で判定される。

（２）相手方のサービスしたボールを，ブロックすることは許されない。

（３）ブロック後の第１回目の接触は，ブロックのときボールに触れた競技者を含めて誰にでも許される。

＜Ｑ＆Ａ＞

Ｑ１．ソフトバレーボールに慣れていないプレーヤーが，ブロックをしようとしたが，ネットの上端より上方に手が出ていなかった場合も，ブロックとして見なすのですか？

Ａ１．ブロックの定義から言いますと，そのプレーはブロックではないので，打数１と数えるべきですが，慣れてないプレーヤーであることや親睦大会であることをふまえて，ブロックと見なします。（主審の判断による。）

Ｑ２．「ネットに接近して」とありますが，具体的にネットからどの程度までの距離なのですか？

Ａ２．主審の判断に任せますが，おおむね１ｍ程度と考えて下さい。しかし，ブロックなのか，オーバーハンドパスなのかは，しっかり判断して下さい。

5　ボール・インとボール・アウト

（１）ボール・イン

ボールが，コート区画線の中心よりコート内側に接触したとき，そのボールはインとなる。

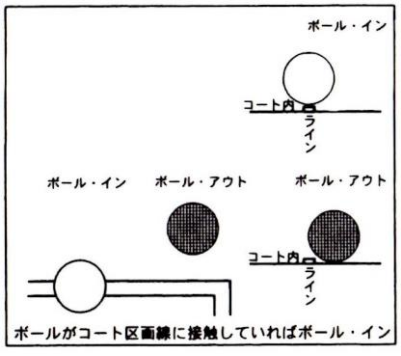
（２）ボール・アウト

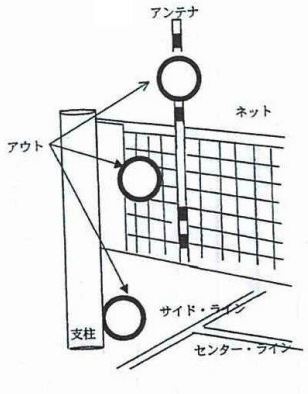
①　ボールが，コート区画線の中心から外側の床に落下するか，コート外の物体に触れたとき。

②　ボールがアンテナのみに触れたとき。
（ボールがアンテナとネットに同時に触れたときもアウトとなる。）

③　ボールが２本のアンテナ，またはその想像延長線の間を通過しなかったとき。

④　ボールがネット下を通過して，相手方コートに入ったとき。





６　プレー上の反則

次に挙げるプレーは，反則となる。

（１）チームが，サービス順を誤ってサービスを行ったとき。（サービス順の誤り）

（２）サービスボールを打った瞬間，あるいはジャンプ・サービスをするため踏み切ったときに，コート（エンド・ラインを含む）や，サービス・ゾーンのフリー・ゾーンに触れていたとき。（フット・フォールト）

（３）サービスが打たれた瞬間に，サーバーをのぞき両チームの各競技者が，コート内で正しいポジションに位置していなかったとき。（アウト・オブ・ポジション）

（４）サービスされたボールが，ネットやアンテナに触れるか，相手方競技者に触れずにボール・アウトになったとき。（サービス・フォールト）

（５）サービスされたボールを，アタック・ヒットして，それが完了したとき。バックの競技者がアタックラインを踏み越えて（アタックラインを含む）アタック・ヒットして，それが完了したとき。（アタック・ヒットの反則）

（６）サービスされたボールを，ブロックしたとき。バックの競技者がブロックに参加し，ブロックして，それが完了したとき。（ブロックの反則）

（７）ネットを越えて相手方コートに打ち返すために，ボールへの接触が，ブロックへの接触を除いて最大限３回を超えたとき。（オーバー・タイムス）

（８）ボールに接触中，明らかにボールが止まるようなプレーがあったとき。（ホールディング）

（９）ブロックの場合を除き，同一競技者が，明らかに２度続けてボールに触れたとき。（ドリブル）

(10) イン・プレー中に，ネットやアンテナに触れたとき。（タッチ・ネット）

(11) ネットによって分けられた相手コート上にあるボールに触れたとき。（オーバー・ネット）

(12) センター・ラインを完全に越えて，相手方コートに触れたとき。（パッシング・ザ・センター・ライン）

(13) ボールがアンテナやコート外の物体に触れたとき。また，ボールの全体またはその一部でもネット上部の許容空間外を通過したとき。ボールの床に接触した部分が完全に区画線の外側であるとき。ボールがネット下の空間を相手側に完全通過したとき。（ボール・アウト）

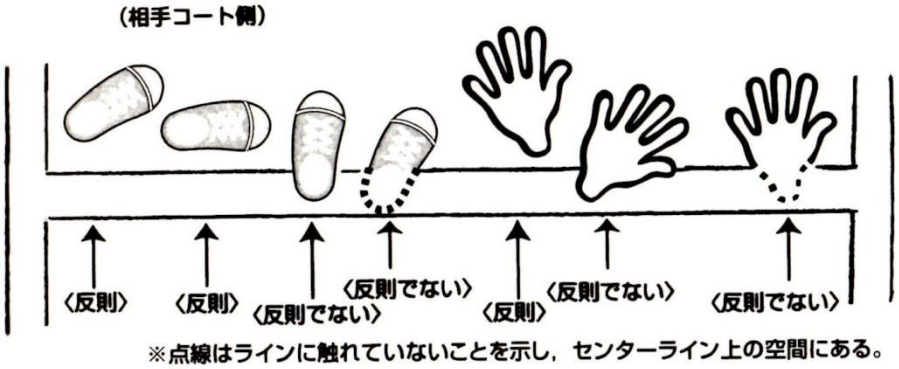
(14) 両チームの競技者が同時に反則を犯したとき。ネット上で，両チームの競技者が同時にボールに接触し，そのボールがアンテナやコート外の物体に触れたとき。（ダブル・ファウル）

(15) 相手チームのプレーを妨害する行為があったとき。（インター・フェアー）

＜注釈＞

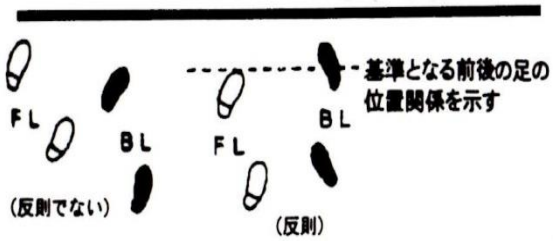
①タッチ・ネットは，ボールをプレーしようとしていないときに，偶然に触れた場合は反則とはならない。また，支柱に触れた場合も，反則にならない。

②パッシング・ザ・センター・ラインの反則で，片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部がセンター・ラインに接触しているか，その真上に残っていれば許される。しかし，肘，膝，頭などの身体部分が相手コートに接触した場合は反則となる。



③アウト・オブ・ポジションの反則は，サービスが打たれた瞬間の位置関係で判断する。

競技者の左右の位置関係



バック競技者とフロント競技者の位置関係

審判のハンドシグナル

審判員 主：主審 副：副審
主 ● サービス許可
サービスの方向を手で指示する。
主 副 ● ポイント
サービスをするチーム側の腕を横にあげる。
主 副 ● ボール・イン（グッド）
フロアーを指す。
主 副 ● ボール・アウト
他の競技者や物体に当たった場合も同じ。
手のひらを自分の方に向け両手をあげる。
主 副 ● ダブル・ファウル
（ノー・カウントおよび緊急にラリーを中断するとき，審判ミステークのとき）
両手の親指を立てて，両腕をあげる。
主 副 ● ワン・タッチ
垂直に立てた手の指先を、他方の手でブラシをかけるようにする。
審判員 主：主審 副：副審
主 ● オーバー・ネット
片方の手のひらを下に向け，ネット上方に伸ばす。（副審は同様の動作で合図する。）
主 副 ● オーバー・タイムス
指を４本伸ばし，その手をあげる。
主 ● サービス・ボールがネット上端に触れ，相手コートに行ったとき
ネットの上端をサービス側の手で触れる。
主 ● サービス・ボールがネットに触れ，ネットを越えないとき
ネット側面をサービス側の手で触れる。
主 副 ● 競技者のタッチ・ネット
ネット側面を反則を犯した側の片方の手で触れる。
主 副 ● ホールディング
片方の手のひらを上に向け，前腕をゆっくり持ち上げる。
審判員 主：主審 副：副審
主 副 ● ドリブル
指を２本伸ばし片方の手を上げる。
主 ● サービス時にボールをヒットしなかったとき
腕を伸ばし，片方の手のひらを上に向けて上げる。
主 ● フット・フォールト
サーバーを片方の手で指して，次に足もとを指す。
主 副 ● パッシング・ザ・センター・ライン
● ボールがネット下方の空間を完全に通過したとき
片方の手でセンター・ラインを指さす。
主 副 ● アタック・ヒットの反則
片方の手を上に伸ばし，前腕を振り下ろす。
主 副 ● ブロックの反則
両手のひらを前に向け両腕を上方に上げる。
審判員 主：主審 副：副審
主 副 ● アウト・オブ・ポジション
片方の手の人差し指で身体の前に円を描く。
主 副 ● セットおよび試合の終了
手のひらを自分の方に向けて両腕を胸の前で交差する。
線 審 線：線審
線 ● グッド
旗を下げる。
線 ● アウト
旗を上げる。
線 ● ワン・タッチ
旗を立て，他方の手のひらを旗の先端にのせる。
線 ● ボールがアンテナに接触するか，その上方外側を通過したときおよびフット・フォールト
アンテナまたはエンド・ラインを片方の手で指し頭上の旗を左右に振る。
線 ● 判定不能
両手を上げ，両手を胸の前で交差する。

審判・選手　行動表

時 間	場　内	内　容	選　手	主審 1 名	副審 1 名	線審 4 名	得点 2 名
15 分	前試合第 2 セット開始	集合	「次の試合の関係者は･･･」の場内放送により，所定の位置に集合 進行係にラインナップシートを提出	所定の位置に集合	所定の位置に集合	所定の位置に集合	所定の位置に集合
		選手確認	人数確認	立会い	立会い	ラインナップシートを，進行係から受け取る	
		試合の成否確認	記録用紙にサイン(男子主将がサイン)	記録用紙にサイン			
		サーブ抽選	両チーム主将によりジャンケンで決定	サービスチームの確認	サービスチームの確認		
5 分	前試合終了	入場	進行係の先導により入場	進行係の先導により入場	進行係の先導により入場	進行係の先導により入場	進行係の先導により入場
		礼	女子選手はエンドラインに整列，礼，握手	女子選手がエンドラインに整列後，礼の合図			所定の位置で待機 得点板をゼロにする
		練習	女子選手．練習開始			フラッグを受け取る	
	開始 1 分前	コート待機	「試合開始 1 分前」の場内放送により，所定の位置で待機		サーバーにボールを渡す	ラインナップシートで確認，所定の位置で待機	
15 分	試合開始	第 1 セット開始	第 1 セット開始	開始ブザーにより，合図をして試合開始	サービス順に注意を払う	シグナルをはっきり示す エンドラインの確認	得点板を正確にめくる
	第 1 セット終了	第 1 セット終了	第 1 セット終了	終了ブザーにより，合図をして第 1 セット終了	終了時のサーブ権確認		
5 分		礼	女子選手がエンドラインに整列	女子選手がエンドラインに整列後，礼の合図			得点板はそのままにしておく ２セット目の得点を追加する
		練習	男子選手と女子選手の入れ替え 男子選手の練習開始				
	開始 1 分前	コート待機	「第２セット開始１分前」の場内放送により，所定の位置で待機		サーバーにボールを渡す	ラインナップシートで確認，所定の位置で待機	所定の位置で待機
15 分	第 2 セット開始	第 2 セット開始	第 2 セット開始	開始ブザーにより，合図をして試合開始	サービス順に注意を払う	シグナルをはっきり示す エンドラインの確認	得点板を正確にめくる
	試合終了	第 2 セット終了	第 2 セット終了	終了ブザーにより，合図をして第２セット終了	ボールを所定の位置に戻す		
5 分	試合終了 ↓ 次試合開始	礼	男子選手はエンドラインに整列，礼，握手	男子選手がエンドラインに整列後，礼の合図	その場で主審の合図で礼	その場で主審の合図で礼 フラッグ･ラインナップシートを，進行係に返却	得点板はそのままにしておく （記録のため）
		移動	速やかにベンチから移動する	退場	退場	退場	退場
	コート外	記録・サイン	点数を確認して記録用紙にサイン（女子主将がサイン）	試合結果として記録用紙にサイン			